

# 【小3・国語・「食べ物のひみつを教えます」】①

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) ・主語と述語との関係、接続する語句の役割、段落の役割等について理解することができる。 (1) ア
- (思・判・表等) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 B ウ
- (学びに向かう力等) ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

## ICT活用のポイント

児童の「考えの共有・修正のしやすさ」

教師の「児童の状況や課題把握」

### 【つかむ】

食材の変身について興味をもち、単元の課題を確認する。

### 単元の課題

食べ物の変身を文章に書いて全校に伝えよう。

### 【追究する】

食材を決めて、情報を集める。組み立てと例の書き方を考え、友達と見合って推敲する。

### 【まとめる】

書いた文章を友達と読み合い、感想を伝え合う。

## 事例の概要

○自分で選んだ食材について書いた「中」の部分（事例ごとに分けて、カードに文章が書かれている）について、友達と読み合う。よさや直すところを友達に伝え、アドバイスし合い、それをもとに、もう一度自分の文章について考え、より分かりやすい文章になるよう手直しをする。

## 事例におけるICT活用場面①

○友達の作文の表現のよさや直すところを確認する場面で、ICT端末を使い、作文を友達と送り合う。送り合ったカードをもとに、よさやアドバイスについて話し合う。

## 事例におけるICT活用場面②

○文章を分かりやすく書き直す場面で、友達から送られたカードや友達のよさをもとに試行錯誤しながら修正する。

## 事例におけるICT活用場面③

○「振り返り」を提出する。

# 【小3・国語・「食べ物のひみつを教えます」②】

## 【事例におけるICT活用の場面①】

### 「カード」(作文)と アドバイス、よさを共有



書き出しに「まず」  
などのつなぐ言葉  
を入れた方がい  
いよ。

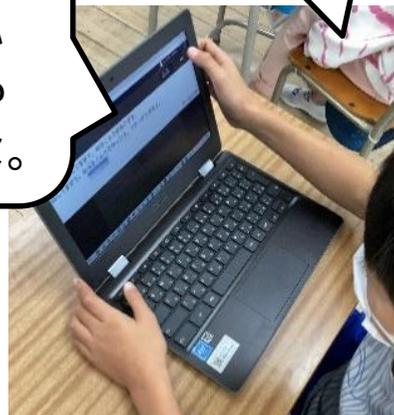
ICT端末を使って、グループの友達の  
カードを共有することで、同時に読み、  
アドバイスを記入することができたた  
め、**時間短縮につながった**。送られた  
カードをもとに、よさや直すところにつ  
いて話し合えた。

## 【事例におけるICT活用の場面②】 【事例におけるICT活用の場面③】

### 「カード」(作文)を修正

〇〇ちゃん  
の例をあげ  
る順序は工  
夫されてい  
て分かりや  
すかったな。

「さらに」って  
言葉を使っ  
てみよう。



手直しをする際、ICT端末を使  
ったことで、**書いたり消したりが  
容易なため、試行錯誤しながら  
より分かりやすい文章に直すこ  
とができた**。

### 「振り返り」の提出

例をあげる  
順序を工夫  
して書けた。

次は、全校  
に伝わるよ  
う工夫して  
書きたい。



「振り返り」を提出するこ  
とで、**教師が児童の頑張  
り等を見取りやすくなった**  
。また、**個々の課題を把  
握し、次時への手立てを  
講じやすくなった**。

【活用したソフトや機能】 ・授業支援ソフト (データの送受信・加除修正・提出)